姶良バイパス4車線化開通

地域発展に大きな期待

一般国道10号姶良バイパス4車線化開通式典が7日、姶良郡姶良町の中央公民館で開かれ、国土交通省九州地方整備局及び鹿児島国道事務所、衆参両議員、施工業者など約90人が出席して完成を祝った。

初めに開通を記念し、地元の児童らで構成する松原上まむし太鼓が勇壮な演奏を披露した後、国道バイパス植栽帯に渡邊茂樹国土交通省九州地方整備局長や奥村康博鹿児島国道事務所長、福元久夫姶良町長らがアメリカ

祝 一般国道10号姶良バイパス４車線化完成

開通を祝い挨拶する奥村所長＝姶良町の中央公民館で

式典では、奥村所長が「沿道の皆様のご協力で4車線化が実現した。すでに1日から供用を開始しているが、今後も地域の発展に貢献できるよう祈念する」と述べて工事概要を説明した後、渡邊局長が「4車線化完成により、利便性や安全性が向上し、地域の自立的発展や生活環境改善に大きく寄与すると期待している」と挨拶。

続いて来賓を代表して小里貞利衆議、森山裕参議、加治屋義人参議、直江延明県土木部長、溝口宏二県議会議長、福元姶良町長が「大隅薩摩の交通の要所であり、早期完成が渇望されたコース。それぞれの立場や責任において、忍耐強く知恵を出し合った結果完成を見たことは誠に喜ばしい」

同バイパスは、姶良町十日町から脇元までを結ぶ延長5・6キロのうち、出口交差点付近から重富郵便局交差点付近までの4・2キロの区間で、幅員は11・25メートルから24メートルに広がった。総事業費は約18億円。車道部は排水性舗装、歩道部は透水性舗装で、乗り入れ部の段差がないバリアフリー歩道となっている。また、歩道部には姶良バイパス植栽検討会の決定により、クスやアメリカフウの高木を植栽した。

は改築1工区を松尾鋪道㈱、同2工区を丸福建設㈱、同3工区を北川ヒューテック㈱、同4工区を日東道路㈱、道路照明灯設置を中外電工㈱、舗装を北川ヒューテック㈱、白銀橋外2橋地質調査を明大工業㈱、白銀橋詳細設計を㈱オリエンタルコンサルタンツ、東亜橋詳細設計を第一復建㈱、東餅田跨道橋詳細設計を中央コンサルタンツ㈱、歩道部植栽を有村総合建設㈱と新谷緑化㈱が、それぞれ担当した。

桑木組、創立記念式典

逆境をバネに飛躍を

㈱桑木組（桑木規行社長）は7日、出水市の出水建設会館にグループ社員の約120人が参加して第78回創立記念式典を開き、永年勤続表彰や桑木喜行会長による「今後の経営計画」の説明、ビデオ講演を聴講した後、参加者全員で道路・河川・学校周辺などの広範囲にわたって、空き缶やちり拾いのボランティア活動を行った。

式典では冒頭、桑木社長が「第28回の創立式典にあたり、永年勤続表彰などを行い、講師の都合によってビデオによる講演になるが役立てて下さい」と挨拶。引き続き、同社長から13人の永年勤続表彰者に賞状と記念品が手渡され、桑木行喜副会長が閉会の挨拶を行って式典を終えた。

続いて、桑木会長が『今後の経営計画について』と題して事業概要を説明しながら「社会経済が低迷し、特に建設業界は深刻な状況下にあるが、企業のダイエットに特効薬はないので、生き残りを掛けて自分達で努力してスリム化を図って乗り切り次のジャンプに備えよう。逆境の時こそ人が育つチャンス、覚悟を決めて智恵を出し、全員で負けない会社造りをしよう」と呼び掛けた。

生き残りを掛けて自らの努力を一と呼びかけた式典
＝出水市の出水建設会館で

このあと、藤井妙法師（天台宗僧侶）による「成功の哲学、成功する物の見方・考え方」と題したビデオ講演を聴講、昼食後、参加者全員で空き缶・ちり拾いのボランティア作業に汗を流した。

永年勤続表彰者は次の通り。

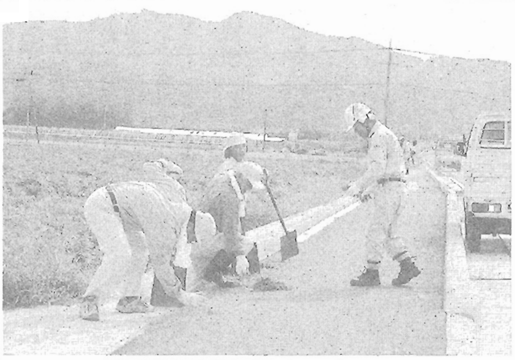
30年＝大山孝㈱桑木組）▽25年＝山下タエ子（同）▽15年＝小園道夫㈲エイコー石油）▽10年＝辺志切健二・上野了・坂田賢二・東信治・岡野繁（桑木組）福浦博喜・池上睦子（エイコー石油）▽5年＝岩崎雅彦・中島一成（桑木組）久松玉幸（エイコー石油）

川辺地域農村振興技術連盟等 奉仕作業

広域農道を清掃

県建設業協会加世田支部（上東信義支部長）と加世田耕地事務所（内門弘行所長）、管内の各市町・土改連の農業農村整備事業担当者などで構成される川辺地域農村振興技術連盟と、同振興事業連盟は7日、加世田耕地事務所が進める広域営農団地農道整備事業・川辺2期地区の整備区間（川辺町小野、高田地内）の地域清掃活動を行った。

この活動は、13年度に県が策定した「21世紀新かごしま総合計画」において、「水と土と農の保全コミュニティの形成」を主軸に、土地改良施設や地域資源の保全・管理と地域住民、農業組織、市町村及び土地改良区などの地域管理の仕組みづくりを図ることと、土地改良区の運営基盤の強化、農村部の集落機能の向上と地域住民への認識を図ることを目的に、13年度から地域清掃活動を行っているもの。



熱心に作業に取り組む参加者＝川辺町の現地で

午前9時に、川辺町役場駐車場に集合した参加者らを前に、同耕地事務所の内門所長が「残暑の厳しい中での清掃作業になりますが、けがには十分注意して作業をしてほしい」と挨拶。続いて、㈱加覧組の新谷政昭社長が「我々が造った道は、我々が率先してきれいにしていこう」と述べ、作業上の注意事項等の後、参加者らはそれぞれの持ち場に向かった。

作業は、県道頴娃・川辺線、町道永田・本別府線などの5カ所を、計5班に分かれて沿道沿いの草払いや空き缶拾いを実施。昼前まで行われた作業で、区間内の沿道は見違えるようにきれいに清掃された。

施工基準の講習会など

名瀬市で「下水道の日」キャンペーン

9月10日の「第42回下水道の日」を前に名瀬市下水道課と市内排水設備指定工事業者は7日、海岸清掃、技術者講習、チラシ配布などを行い、下水道普及に努めた。

今年度の推進標語は「下水道 きれいな水

市では2日から横断幕や資料、ポスター掲示などの広報活動で下水道のPRを行ってきた。

「下水道の日」は1961年に「全国下水道ったもので、2001年により親しみのあるものとして現在の名称に変更された。

この日は午前9時から名瀬市排水設備指定術者講習会があり、排水設備の新しい施工基準などについて学んだ。

排水設備施工基準など学んだ講習会
＝名瀬市の奄美文化センターで

市下水道課の徳田照久課長は挨拶で「名瀬市の下水道普及率は90%を超え、全国でも高いレベルにある。今後も力を合わせて未整備地区解消を目指そう」と話した。

また市内の朝仁海岸では市職員と排水設備業者ら約70人がごみや空き缶を拾うなどの清掃作業を行ったほか、受益者負担金未納世帯や未接続区域、グリーストラップ接続区域へのチラシ配布での広報活動やターゲットバードゴルフ大会、ゲートボール大会なども実施した。

SPACE HOUSE が鹿児島に
スペースハウス
新登場
・簡単, スピーディーな作業
・安全性, 快適性を重視
・コンセント, 照明・換気扇付
・運搬時のコストダウン化
ハウス事業部
鹿児島支店
鹿児島市永吉町(アリーナ近く)
☎ (099) 250-5060番
FAX (099) 285-5999番
串木野支店
串木野市さつま山(R3号線沿)
☎ (0996) 32-2839番
FAX (0996) 32-4156番
スペースハウス「エクストラ」
販売・リース 県下総代理店
中央仮設株式会社
☎(099) 229-5900